

阿 字 の 故 郷

高野山真言宗 天応山神保寺 千手院情報誌
編集者：川上 修 註

●平成 23 年上半期の活動報告

東日本大震災諸精霊供養お位牌建立

3月11日(金)午後2時46分に発生東北地方太平洋沖地震により、多くの方々の命を失い、夥しい数の行方不明者と避難生活の方々を生じています。巨大津波や福島原子力発電所の放射能被害も甚大です。

その中で、高野山真言宗では、発生直後より連絡会を開催し、東京高輪の別院に災害対策現地本部を設け、更には、特別義捐金口座を開設し、集まった基金を活用して、現地への支援策を続けています。

また、千手院では、10月に予定していた本堂落慶法会を8月10日の盂蘭盆会に早めて行い、大震災で亡くなられた方々の供養も含めて開催すること致しました。

既に白木のお位牌を浄書し、仮本堂に安置して供養を続けておりますので、時折お参りにいらっしゃる方も居られます。

更には、落慶法会に向けて、義捐金のご寄付を働きかけて参りますので、少しでも多くに方のご協力を頂けますようお願い申し上げます。

大山代理参拝(閻魔十王講)を開催

5月29日(土)午前8時30分に辻堂駅で待ち合わせ、その後に千手院で乗車待ちし一路大山へと向かいました。(総勢33名)

お世話人は、原田季昭副会長・白井精治副会長・原田吉一役員・小池忠役員の方々に、府中蓮花寺の伊藤彰道ご住職も同行して頂きました。

大山寺では、ご住職から団扇を一人一人にお配りいただき、国宝の不動明王様のご立派なお姿に唯々見とれるばかりでした。

阿夫利神社の宮司様や巫女の方々も、毎年恒例の団参に、親しくお声をかけていただき、懇篤な正式参拝を無事終えることが出来ました。

翌日には、大山全体で全国の日本酒を集めた、聞き酒のお祭りがあるそうで、中には次の日に来たかったと思っという方もいたようですが、お土産物屋さんでの昼食には地酒が振る舞われ、大変美味しいお清めを楽しむことが出来ました。

例年5月の最終土曜日に企画致しますので、是非一度ご参加下さい。

本堂建築完了検査を茅ヶ崎市が実施

6月2日午後より本堂建築の完了検査が茅ヶ崎市の建築指導課により行われ、任職と設計監理の伊藤平左工門建築事務所担当根岸広人一級建築士と番匠井上俊仁棟梁が立ち会いました。

完了検査と言っても、建物の構造に対しての検査ですので、仏具や飾り物は対象になりません。須弥壇や位牌壇や閻魔壇の漆塗り等が残っておりますので、本堂引き渡しは、7月に入ってからとの予定です。

尚、仏具の修復費用や必要な備品の施主が決まっていない物がありますので、ご協力いただける方はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

本堂の荘厳は、それぞれ宗旨の方針やお寺の方向性を見極めた上で、任職が内容を決めていきますので、個人的な趣味で品物を納めることだけは控えて下さい。公の空間としてのバランスが肝心です。

お地藏様・内陣仏具・燈籠・経机・阿字観軸等様々ございますので、任職と相談の上で重ねてお願い申し上げます。

●平成23年初夏～晩秋にかけてのご案内

蘭益会卒塔婆のお申し込み受付開始

7月1日（木）からお盆のお塔婆の浄書を開始いたしますので、施主の変更が有る方は、6月末日までにご連絡下さい。

その他、名簿の追加や新益供養で施主名簿の人数が多い方は、なるべく早い時期にお申し込み下さい。

特に、新益供養の方は、お塔婆の基数が多い場合が有りますので、早期にご確認の程をお願い申し上げます。

※お塔婆は、1基2500円ですが、浄書代やお経料は事情によってお考え下さい。

本堂落慶と盂蘭盆会新益供養を開催

8月10日（水）午前11時より開始。

- ① 千手院本堂落慶法会
- ② 盂蘭盆会（新益・卒塔婆）供養
- ③ 東日本大震災精霊供養

以上の三つの標題で執行致し、落慶法会を自粛するよりも、より多くの目標に向かって前進する方法を選択致しました。

また、次第は以下の様に致しました。

- 一、受付と記念品の授与
- 一、半鐘と御詠歌で僧侶入堂
- 一、読経（奠供・散華・對揚）
- 一、慶讃文（本堂落慶の報告文）
- 一、読経（理趣経）・御詠歌講奉詠
- 一、回向文（新益と精霊供養の文）
- 一、読経（後讃・諸真言）
- 一、式典（祝辞・褒賞・謝辞）
- 一、御詠歌で僧侶退堂
- 一、記念撮影
- 一、卒塔婆をお配りします
- 一、本堂内覧会

また、当日のお祝いの一部を、東日本大震災の義捐金・支援金として使わせていただきますことをご了承いただき、当日は、より多くの義捐金・支援金のご協力を頂ければと思っております。

尚、記念品は、寄付者には千手院特注の本堂落慶法会記念《輪袈裟》。その他、ご参拝の方々にも、干菓子と高野山の霊水と紅白饅頭にお赤飯が配られます。

お稚児行列は残念ながら中止と致しましたが、この先も伽藍と境内の整備は続きますので、何れ行いたいと思えます。

住職が読経で出仕予定の各地の寺院

7月29日	広徳寺（小和田）	午後3時
8月1日	成就院（大庭）	午後3時
8月2日	輪光寺（円蔵）	午後2時
8月3日	善福寺（柳島）	午後1時
8月4日	長善寺（矢畑）	午後1時
8月5日	宝生寺（西久保）	午前10時
8月6日	満福寺（萩園）	午後2時
8月7日	宝珠寺（辻堂）	午後2時
8月8日	円蔵寺（十間坂）	午前11時
8月9日	成就院（甘沼）	午前11時
8月9日	泉蔵寺（片瀬）	午後3時
8月11日	長福寺（松林）	午後1時

棚経日程（住職の各家訪問の予定表）

7月13日～15日 鎌倉・横浜・東京地域
8月13日 元町・本村・松林・小和田・
代官町・小桜町地域

8月14日 浜竹・出口町・美住町・松浪・
ひばりヶ丘・松が丘地域

8月15日 城南・辻堂・赤松・長後地域

※出来るだけ多くのお家に伺う予定ではお

りますが、天候や緊急の用件等で左右されますので、お伺いできないこともございます。その点はご了承頂きますようお願い申し上げます。

秋季彼岸会・稲荷講（読経と茶話会）

9月23日（金）午前11時より。秋の収穫の時期に、境内のお稲荷様に、五穀豊穡と無事円満を感謝いたします。

大勢の方々が参加出来るように、秋の日を選んで行いますので、地域の稲荷講とは時期を異にしております。

読経の後、軽食を用意しておりますので、是非ご参列下さい。

高野山団参と奥の院御霊木拝領御礼

10月3日（月）～5日（水）の二泊三日で和歌山県の高野山真言宗総本山金剛峯寺へ団体参拝とお礼参りを致します。

①奥の院ご霊木ご拝領に対する御礼

総本山金剛峯寺書院で奉納式典に参加

②奥の院で本山主催の植樹祭に参加

千手院の団体の為だけに、植樹祭の用意

をして頂けるそうです。

③宿坊での精進料理と般若湯

お戒名やお位牌をお持ち下さい。早朝の勤行で読み上げていただけます。

④竜神温泉で美人の湯と山海の美味堪能

以上の内容ですが、辻堂駅と千手院境内を出発地点とし、全行程貸し切りバス移動ですので、荷物の心配がありません。乗り遅れや、せかさされる心配ありませんから、ゆったりとした遊行会に成ります。

※参加ご希望の方には申込用紙有り。

官長猯下と仏像ガールの特別伝道

11月21日（月）特別伝道相模大会が相模宗務支所主催で、小田急線相模大野駅前の相模原グリーンホールで行われます。

松長有慶官長猯下をお導師にお迎えし、静慈圓先生にお書き頂いた《弘法大師さま御影》のお軸を掛け、相模宗務支所のご住職さま方による読経の後、仏像ガールの講演会も行われます。

約一千名の規模を予定して居りますので皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。震災募金も行われる予定です。

平成23（2011）年の回忌一覧表

1	周忌	平成22（2010）年
3	回忌	平成21（2009）年
7	回忌	平成17（2005）年
13	回忌	平成11（1999）年
17	回忌	平成7（1995）年
23	回忌	平成元（1989）年
25	回忌	平成3（1991）年
27	回忌	昭和60（1985）年
33	回忌	昭和54（1979）年
37	回忌	昭和50（1975）年
50	回忌	昭和37（1962）年

※ご法事をご希望の方は、お寺に日時の確認をしてからお決め下さい。同じ日時に法事の重なる場合が有りますので、先着順とさせていただきます。ご了承ください。

◎必要事項は左記の内容です。

- ① 日時と場所の確認を一番にします。
- ② 卒塔婆の名簿をふりがな付きで提出。
- ③ 参加者の人数を前日までに確認。
- ④ 食事の有無と場所を確保します。
- ⑤ 生花と供物の注文を頼むか持参か。
- ⑥ 位牌と遺影は機にに応じて考えましょう。

護寺会世話人名簿・○印は組長さん

1組	新田 眞由美	濱須賀
	水島 寅夫	小桜町
	○斎藤 功	代官町
2組	白井 好之(会長)	小和田
	新倉 春生	小桜町
	○新倉 孝文	代官町
3組	原 季昭(副会長)	小桜町
	○原 田吉(書記)	出口町
	原 田勝幸	小桜町
4組	○楠本 実(監査)	松林
	新倉 秀春	小桜町
5組	○白井 精治(総務)	代官町
6組	小池 忠	浜竹
	○白井 スミ子	浜竹
7組	水嶋 富士雄	美住町
	○豊村 實	浜竹
8組	○原 田島雄(監査)	辻堂
9組	○石橋 久照(会計)	城南
	鈴木 奈々子	城南

10組○護寺会総務で、組長は預かり。

※本年の物故者は、名誉会員の原田幸徳殿と七組組長の水島喜代一殿です。以上

高野山真言宗 天応山神保寺

せん じゆ いん
千 手 院

〒253-0015 茅ヶ崎市代官町1番4号
 電話 0467(51)9758
 FAX 0467(51)0561
 ホーム <http://www.shusen.com/senjuin>
 メール senjuin@shusen.com